

黙阿弥の最高傑作を
〈同時代〉の物語として問い直す——
時代の狭間で生き抜く人々が交錯する
群像グラフィティ。

三日月

S
A
N
N
I
N
K
I
C
H
I
S
A

木ノ下歌舞伎

KINOSHITA - KABUKI

2015年6月13日|土| — 21日|日|

東京芸術劇場 シアターウエスト

監修・補綴 || 木ノ下裕一

演出・美術 || 杉原邦生

作 || 河竹黙阿弥

2015.6.13 Sat. — 21 Sun.

Tokyo Metropolitan Theatre, Theatre West

Supervision, Revisions. Yuichi Kinoshita

Direction, Stage Design. Kunio Sugihara

Text. Kawatake Mokuami



芸術が注目する
才能たち。



三人吉三

SANJIN KICHISSA

木ノ下歌舞伎

KINOSHITA-KABUKI

監修・補綴 || 木ノ下裕一
演出・美術 || 杉原邦生
作 || 河竹黙阿弥

2014年秋、
KYOTO EXPERIMENT
京都国際舞台芸術祭で
初演された話題作が早くも再演。
上演時間5時間に及ぶ、
木ノ下歌舞伎渾身の
一大エンターテインメント!

詩情豊かな七五調の台詞や、華やかな様式美など、歌舞伎の魅力が詰まった黙阿弥の代表作に、新たな息吹を吹き込んだ、木ノ下歌舞伎の『三人吉三』。

現行上演ではカットされる、廓が舞台のもう一つの物語や、初演以来、約150年振りとなる『地獄の場』を復活させることで、群像劇としての一面を再発見し、激動の時代をものがきながらも光を求める人々を生き生きと描き出しました。

木ノ下歌舞伎の企画員であり、本作含む9作品を演出してきた杉原邦生が、年越の物語の中から新時代への希望を紡ぎ出した、誰も見たことがない『三人吉三』。

江戸時代の熱気そのままに、東京芸術劇場に
いよいよ登場!

2015年

6月13日|土| 16:00 ※プレビュー公演

6月14日|日| 15:00*

6月15日|月| 15:00*

6月16日|火| 休演

6月17日|水| 15:00*

6月18日|木| 15:00*

6月19日|金| 15:00*

6月20日|土| 13:00

6月21日|日| 13:00

※上演時間 || 約5時間 | 全3幕・途中休憩含む |

※未就学児童の入場はご遠慮ください

※*の回終演後、木ノ下裕一・杉原邦生によるトークあり

※当日券の販売及び予約引換は開演の60分前、開場は30分前より

| 料金 | 指定席

一般 || ¥4,000

U-25 || ¥3,000

高校生以下 || ¥1,000

幕見 || ¥1,500 | 木ノ下歌舞伎にて取扱い、6月6日受付開始 |

※6月13日プレビュー公演は一般・U-25共に¥500引き

※U-25、高校生以下チケットをご購入の方は当日、

証明書のご提示が必要です

※高校生以下チケットは、お席は選べませんのでご了承ください

※幕見券に関する情報は、木ノ下歌舞伎Webサイトにてご確認ください

2015年4月25日|土| 前売開始

※2015年4月18日|土|より東京芸術劇場にて先行販売開始

| チケット取扱 |

東京芸術劇場ボックスオフィス ||

窓口 | 休館日を除く10:00-19:00 |

Tel. 0570-010-296 | 休館日を除く10:00-19:00 |

<http://www.geigeki.jp/t/> | PC |

<http://www.geigeki.jp/i/t/> | 携帯 |

木ノ下歌舞伎オンラインチケットサービス ||

<http://kinoshita-kabuki.org>

カンフェティチケットセンター ||

<http://confetti-web.com>

Tel. 0120-240-540 | 平日10:00-18:00 |

| お問い合わせ |

木ノ下歌舞伎 ||

Tel. 050-3636-3734

E-mail. info@kinoshita-kabuki.org

<http://kinoshita-kabuki.org>

| 出演 |

大村わたる ————— 和尙吉三

大橋一輝 ————— お坊吉三

堀越 涼 ————— お嬢吉三

—

村上誠基 ————— 木屋文蔵 | 文里 |

熊川ふみ ————— 丁子屋花魁 一重

藤井咲有里 ————— 文蔵女房 おしづ

—

塚越健一 ————— 八百屋久兵衛

田中佑弥 ————— 釜屋武兵衛

森田真和 ————— 文蔵伴 鉄之助

緑川史絵 ————— 丁子屋新造 花琴

大寺亜矢子 ————— 丁子屋花魁 吉野

森 一生 ————— おしづ弟 与吉

—

田中祐気 ————— 木屋手代 十三郎

滝沢めぐみ ————— 伝吉娘 おとせ

—

武谷公雄 ————— 土左衛門伝吉

※演出の都合上、配役は変更になる可能性がございます

木ノ下歌舞伎 Kinoshita-Kabuki

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より活動を展開している。主な上演作品に『義経千本桜』(2012)、『東海道四谷怪談一週上演』(フェスティバル/トキヨー 13)など。2013年急な坂スタジオプロデュースで初演された『黒塚』は、今年1-3月に再演5都市ツアーを行い、各地で大きな反響を呼んだ。

舞台監督 || 大鹿展明

照明 || 中山奈美

音響 || 星野大輔

衣裳 || 藤谷香子

立師 || 澤村國矢

振付 || bable

所作指導 || 宗山 史

文芸 || 関 亜弓

補綴助手 || 稲垣貴俊

演出助手 || 岩澤哲野、鈴木美波

宣伝美術 || 外山 央

制作 || 本郷麻衣

共同製作 || KYOTO EXPERIMENT,

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター

木ノ下歌舞伎Webサイトでは、『三人吉三』を
楽しんでいただけるコンテンツをご用意しています!

協力 || あやめ十八番、柿喰う客、急な坂スタジオ、キューブ、KUNIO、劇団しようよ、サウンドウィーズ、青年団、台湾岡崎藝術座、DULL-COLORED POP、中野成樹+フランケンス、花組芝居、PAPALUWA、ブリッシャ、範宙遊泳、FAI FAI | 快快 | libido:

主催 || 木ノ下歌舞伎

提携 || 東京芸術劇場 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 |

助成 || 公益財団法人セゾン文化財団



東京芸術劇場 シアターウエスト

Tokyo Metropolitan Theatre, Theatre West

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1

Tel. 03-5391-2111

| 交通案内 |

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」西口より
徒歩2分 | 2b出口直結 |